

オープンセンサコネクタ【Mタイプ】 圧接手順書

このたびは、弊社のオープンセンサコネクタ【Mタイプ】をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しくご使用くださるようお願い致します。

目 次		ページ
■ 構成部品	-----	1
■ 圧接作業手順	-----	2
■ 組立工具	-----	3
■ 取り扱い上の注意事項	-----	3
■ お問合せ先	-----	3

1. 構成部品

1. 1 Mタイプ プラグ

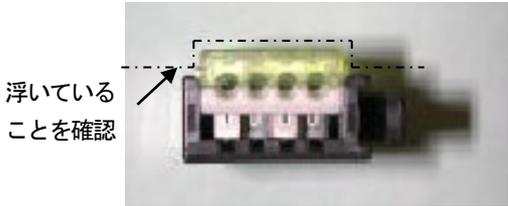
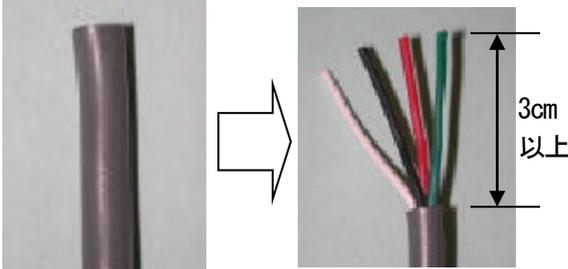
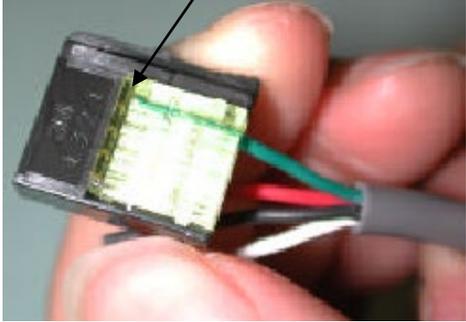
形 名	AWG#	導体面積(mm ²)	仕上外径(φ mm)	色	外 観
ECN-M014R	26~24	0.14~0.20	φ 0.8~φ 1.0	赤	
ECN-M024Y			φ 1.0~φ 1.2	黄	
ECN-M034OR			φ 1.2~φ 1.6	橙	
ECN-M044GN	22~20	0.30~0.50	φ 1.0~φ 1.2	緑	
ECN-M054BL			φ 1.2~φ 1.6	青	
ECN-M064GY			φ 1.6~φ 2.0	灰	

1. 2 Mタイプ ソケット

形 名	AWG#	導体面積(mm ²)	仕上外径(φ mm)	色	外 観
ECN-M114R	26~24	0.14~0.20	φ 0.8~φ 1.0	赤	
ECN-M124Y			φ 1.0~φ 1.2	黄	
ECN-M134OR			φ 1.2~φ 1.6	橙	
ECN-M144GN	22~20	0.30~0.50	φ 1.0~φ 1.2	緑	
ECN-M154BL			φ 1.2~φ 1.6	青	
ECN-M164GY			φ 1.6~φ 2.0	灰	

2. 圧接作業手順

2. 1 : Mタイプ プラグ圧接手順

手順	工程名	作業の要点
1)	プラグコネクタの外観 	使用部品： オープンセンサコネクタ プラグ【M】 使用工具： - 始めに圧接ケーブルの導体線径・仕上り外径を確認し、ケーブルにあったプラグコネクタを使用します。上下のカバー（半透明カバーと白色カバー）がボディに対して仮固定位置にあり、ボディから浮き上がっている事を確認して下さい。
2)	ケーブルの前処理 	使用部品： - 使用工具： メジャー、ニッパ、ケーブルカッター 使用電線がバラ線電線の時は前処理の必要はありませんが、左図のようなキャブタイヤ電線の場合、端面から3 cm以上ジャケットを取り外して下さい。 （このとき内部の電線のよりを戻して広げておくと、後の挿入工程で、作業がしやすくなります。）
3)	ケーブルの挿入 	使用部品： - 使用工具： - ケーブル挿入時、カバー奥まで電線をしっかりと挿入してください。 電線端面が奥まで挿入されていることを、半透明のカバー上部より確認してください。
4)	コネクタ圧接 	使用部品： - 使用工具： 専用ハンドツール（またはプライヤ） 電線がコネクタから外れないように注意しながら、ハンドツール（又はプライヤ）でカバーとボディを挟んでください。 カバーをボディに押し込むことにより圧接されます。 ボディの端面とカバーの上面が水平になれば圧接終了です。 

2. 2 Mタイプ ソケット圧接手順

Mタイプ プラグと同じ手順です。2. 1を参照下さい。

3. 組立工具

	名 称	数量	用 途
1.	専用ハンドツール (またはプライヤ)	1	コネクタ圧接
2.	ケーブルカッター	1	キャプタイヤ電線ジャケット剥離
3.	メジャー	1	キャプタイヤ電線ジャケット剥離
4.	ニツパ	1	電線切断

【取り扱い上の注意事項】

①最初に圧接ケーブルの導体線径・仕上り外径を確認し、ケーブルにあったプラグ(ソケット)コネクタをご使用ください。

適合電線以外をご使用になりますと、圧接が不十分となり、通信異常となる恐れがあります。

またご使用中に圧接ケーブルが外れ、故障、誤動作、けが、火災の原因となる恐れがあります。

②一度圧接したコネクタは再使用しないでください。

一度圧接したコネクタを再使用されますと、通信異常の原因になります。

③導電部分(コネクタ部)には直接触らないでください。

コネクタの接触不良の原因となります。

◆ 製品のお問い合わせ

各製品に関するお問い合わせ先は、当社ホームページにてご確認ください。

www.melco.co.jp/business/introduction/inquiry.html



三菱電機システムサービス株式会社

- ・お断りなしに内容を変更することがありますのでご了承ください。
- ・許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。